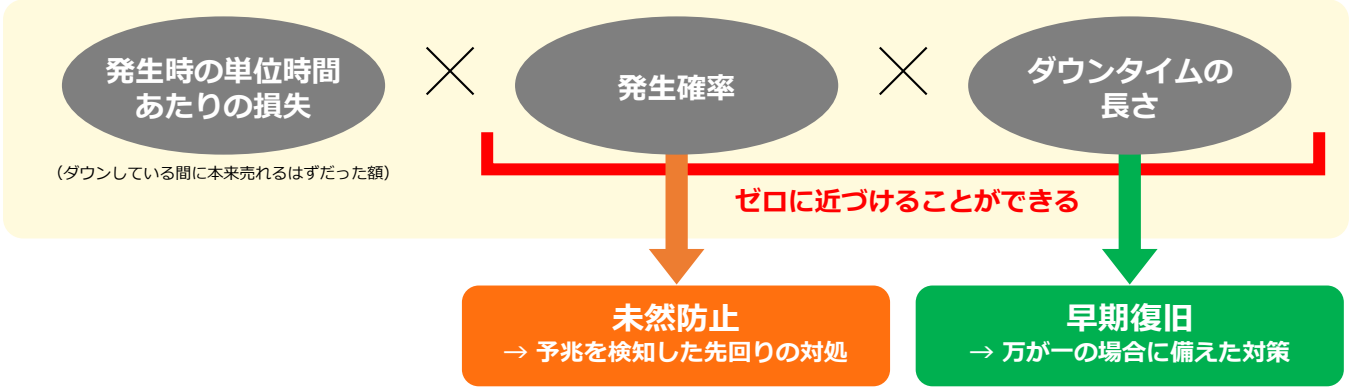
IT 障害をゼロにするために

システムダウンが発生した時の経済的損失は、下記のような式で表されます。
<発生時の単位時間当たりの損失> は変えることができませんが、<発生確率> と <ダウンタイムの長さ> は企業の努力次第でゼロに近づけることができます。

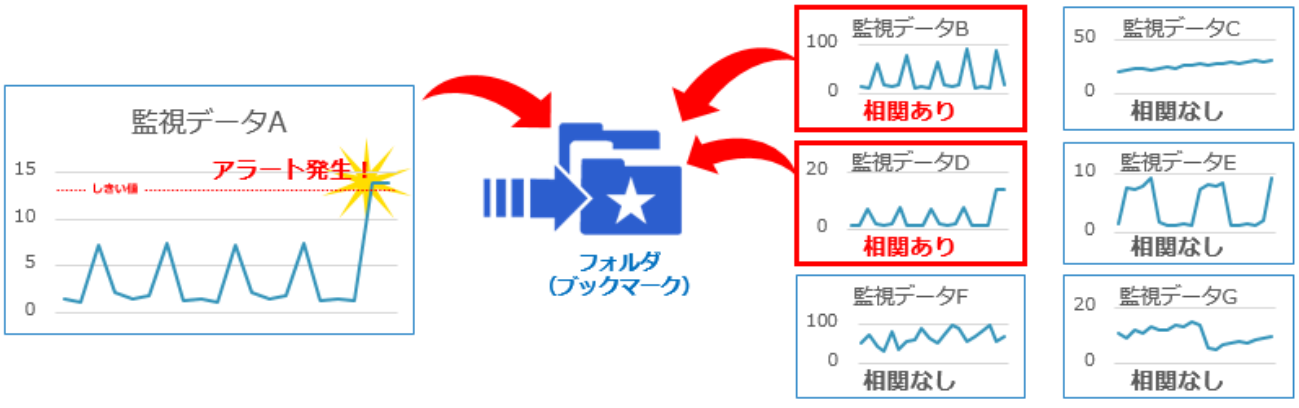


これまでアイビーシーでは、事前の予防対応によって障害の未然防止を支援する将来予測オプションや、ネットフロー解析の効率化により障害の早期復旧を支援する Flowmon 連携など、IT 障害とその損失をゼロに近づけるための新オプション・新機能をリリースしてきました。
そして今回、原因特定のための切り分けを支援し早期復旧を実現する新機能**ダイナミックブックマーク（相関分析）**をリリースいたしました。

ダイナミックブックマーク（相関分析）とは

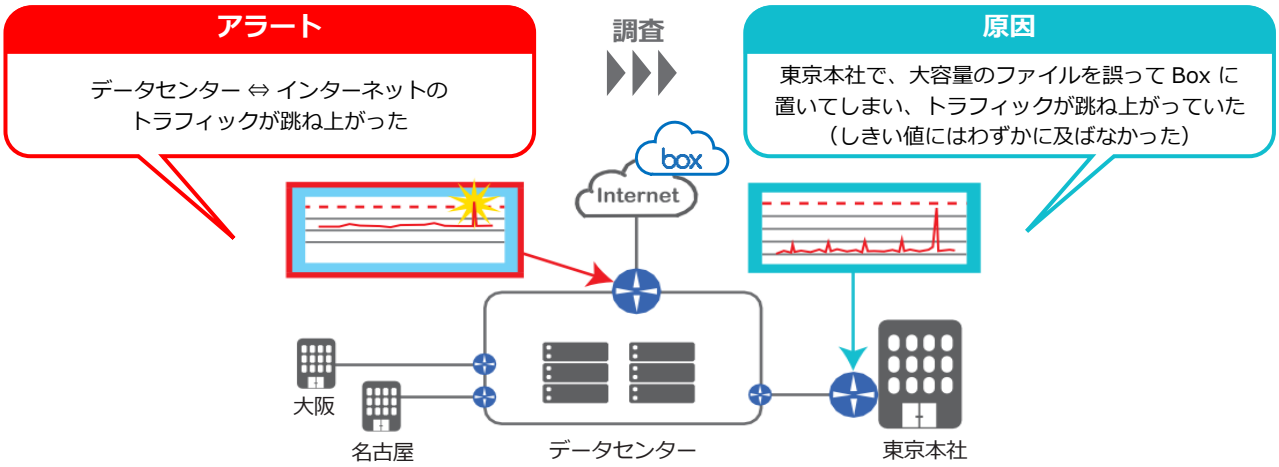
相関がある監視データを一元管理することでアラート発生の根本原因を早期に特定/対処し、二次被害、三次被害を未然に防ぐ

ダイナミックブックマークとは、IT システムのアラートを契機に複数ある監視データの中から傾向が似ている監視データを抽出し、同じフォルダ（ブックマーク）に入れることで、一度に関連した監視データ（監視グラフ）を確認できる機能です。



活用シーン

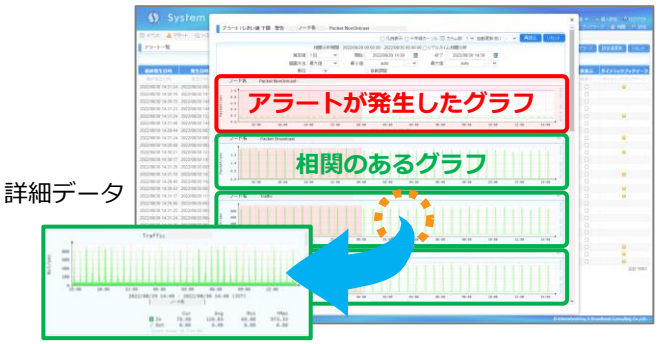
【例】各オフィスから社外ネットワークへの接続は全てデータセンターを経由する通信の場合



一般的には データセンター内のネットワークの問題かどうかを最初に確認する

ダイナミックブックマークで **拠点を含めたすべての監視データの相関関係を確認できるため、IT システム全体の状態を素早く把握でき、根本原因を見抜くことができる！**

機能のポイント



アラート契機で抽出され、素早い対応が可能

アラートが発報されたグラフに対して相関関係のあるグラフが自動でピックアップされるため、必要な時に即座に情報を参照できます。

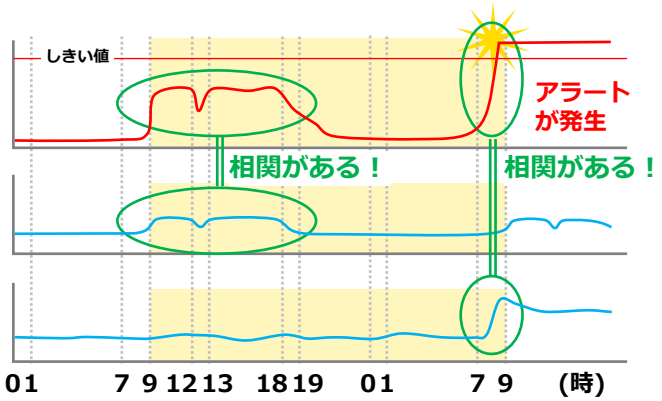
相関関係を自動で抽出

一つ一つのグラフに対して相関の設定をする必要がなく、すべてのグラフ間での相関関係が計算されます。

リアルタイムでの相関関係も確認できる

グラフの上に表示される「リアルタイム相関分析」のチェックボックスを ON にすることで直近の相関関係も計測できるため、発生したアラートに対してすぐに分析することができます。

☑ リアルタイム相関分析



※アラート契機ではなくても任意のタイミングで、任意の期間で、任意のグラフをベースにして分析することも可能です。

IBC
アイビーシー株式会社

[本社]
〒104-0033
東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル8F
tel.03-5117-2780　fax.03-5117-2781

[西日本事業所]
〒532-0004
大阪府大阪市淀川区西宮原2-7-38 新大阪西浦ビル3F
tel.06-7653-1014　fax.050-3473-4160